

小中連携と、地域の輪で子どもたちを見守り、育てる

光市立大和中学校 PTA

1 学校地域の概要



光市大和地区は、山口県の東部、光市の北部に位置し、周囲を低い山々に囲まれた丘陵地帯で、美しい緑に囲まれた自然にあふれる静かな地域である。また、初代内閣総理大臣伊藤博文の生誕の地でもある。

地域内には、小学校・中学校併せて5校の学校（小学校4校、中学校1校）があり、小学校は複式学級を有する極小規模校2校と各学年1学級（10～20名）の小規模校2校とからなる。

各学校内には、美しい花木が広がり、その環境のなかで、子どもたちは健やかにかつ伸びやかに成長している。中学校では、部活動が盛んであり、なかでも陸上競技部においては、平成20年度の全国中学校駅伝競走大会で優勝を勝ち取るなど、高い成績を残している。

一方、課題としては、言葉によるコミュニケーションの不十分さから、相手の意見や行動を理解し、尊重する意識が希薄なため、学習に集中できなかつたり、児童間・生徒間のトラブルがあつたりして、それが問題行動に発展する事案も生じている。

また、小規模校ゆえに、それぞれの小学校で固定化された人間関係や学校ごとに異なる学習規律・生活習慣が、中学校への進学によって変化することにより、集団としてまとまるのが困難な傾向が見られる。

さらには、一部には中1ギャップという言葉に代表されるように、中学校での生活や新たな人間関係づくり、教科担任制などの学習環境の変化に必要以上に緊張感を抱き、中学校生活にスムーズに適応できない生徒もいる。

このような諸課題を解決するには、小・中学校が連携して学習や生活上の問題についての現状把握に努め、共に児童・生徒を育てる方向性を共有化し、協働実践を行っていくことが大切である。以上のような課題意識をもって、平成22・23年度の2カ年、国立教育政策研究所の研究指定を受け、大和地域小・中学校連携教育実践研究に取り組んできた。その成果とさらなる課題を究明しつつ、本年度も引き続き、小・中連携教育を継続して推し進めてきた。学校同士や教員同士の連携や協働の場は少なからずできてきたが、保護者同士や4小学校区である4つの地域の連携や協働は今後の課題である。

このような流れの中で、大和中学校は来年度（平成25年度）からコミュニティ・スクール設置校となり、大和地域の4小学校も平成26年度からコミュニティ・スクール設置校となる予定である。どの学校も、それぞれに地域との連携について組織づくりやどのような活動に取り組むか模索中であるが、地域とのつながりが密接なのはやはり小学校で、これまでも地域の方をゲストティーチャーとして呼ばれることが多かった。それに対して、中学校は地域の方からすると、縁遠い存在であった。中学校の場合、生徒もほとんど全員が自転車通学であるように、校区が広いので、地域の方とのふれあいの場も持ちにくい。今後は、小・中学校の各校がそれぞれのコミュニティを機能させながら、大和地域全体のコミュニティづくりを目指した取り組みが必要である。

2 PTAの組織図（平成24年度）

総 会			
運営委員会			
役員会			
執行部（P）13名＋顧問		学校（T）	
会長（1）副会長（2）監事（2） 部長（4）副部長（4）顧問（若干名）		校長 教頭 書記（2）会計（1） 各部担当教諭	
広報部（委員）	行事部（委員）	生活部（委員）	学年部（委員）
部長・副部長・部員 担当教諭	部長・副部長・部員 担当教諭	部長・副部長・部員 担当教諭	部長・副部長・部員 担当教諭
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 広報紙発行 ・駅伝チーム支援 ・各種研修会参加 ・環境整備作業 ・運動会準備、係 ・球技大会、合唱、 駅伝、バザーの参加 協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 研修企画、 運営 ・大和地域球技大会 ・各種研修会参加 ・環境整備作業 ・運動会準備、係 ・球技大会、合唱、 駅伝、バザーの参加 協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域補導委員 ・学校保健委員会 ・PTA 合唱 ・駅伝炊き出し ・各種研修会参加 ・環境整備作業 ・運動会準備、係 ・球技大会、合唱、 駅伝、バザーの参加 協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会計監査 ・人権学習推進 ・PTA バザー ・交通当番 ・各種研修会参加 ・環境整備作業 ・運動会準備、係 ・球技大会、合唱、 駅伝、バザーの参加 協力
一 般 会 員			
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会、合唱、駅伝、バザーへの参加、協力 	

3 研究主題について

研究主題

小中連携と、地域の輪で子どもたちを見守り、育てる

(1) 研究主題設定の意図

前述の「学校地域の概要」でも触れたが、大和地域内では、小学校と地域の協力・連携はよく行われているものの、中学校となると遠ざかってしまわれる現状がある。また、来年度から、大和中学校がコミュニティ・スクール設置校となることもあり、中学校区内の地域の方々にも中学校を中心とした小中連携（9年間で子供たちを育てる）を理解し、協力していただきたいと考えている。

また、光市では、平成26年度には市内のすべての小中学校がコミュニティ・スクールに移行する。現在、中学校区ごとにそれぞれの地域の実情にあったコミュニティ・スクールのあり方を調査、研究中である。大和中学校区も他の地区にない特徴を生かしたコミュニティ・スクールにしたいと、地域のOBをはじめ、大和中応援団を増やしていきたいと考えている。

(2) 研究計画

研究主題のもと、具体的に以下のようなことに取り組んできた。

- ① コミュニティ・スクールの組織とPTAの組織をどのように連動させるか。
- ② 4つの小学校のPTAと本校のPTAがどのように連携できるか。
- ③ 家庭・地域・学校が協働して取り組むことのできる活動は何か。
- ④ 地域全体で子供たちを見守り、育てるという意識を高めるためには、どのような手立てが必要か。

4 活動内容

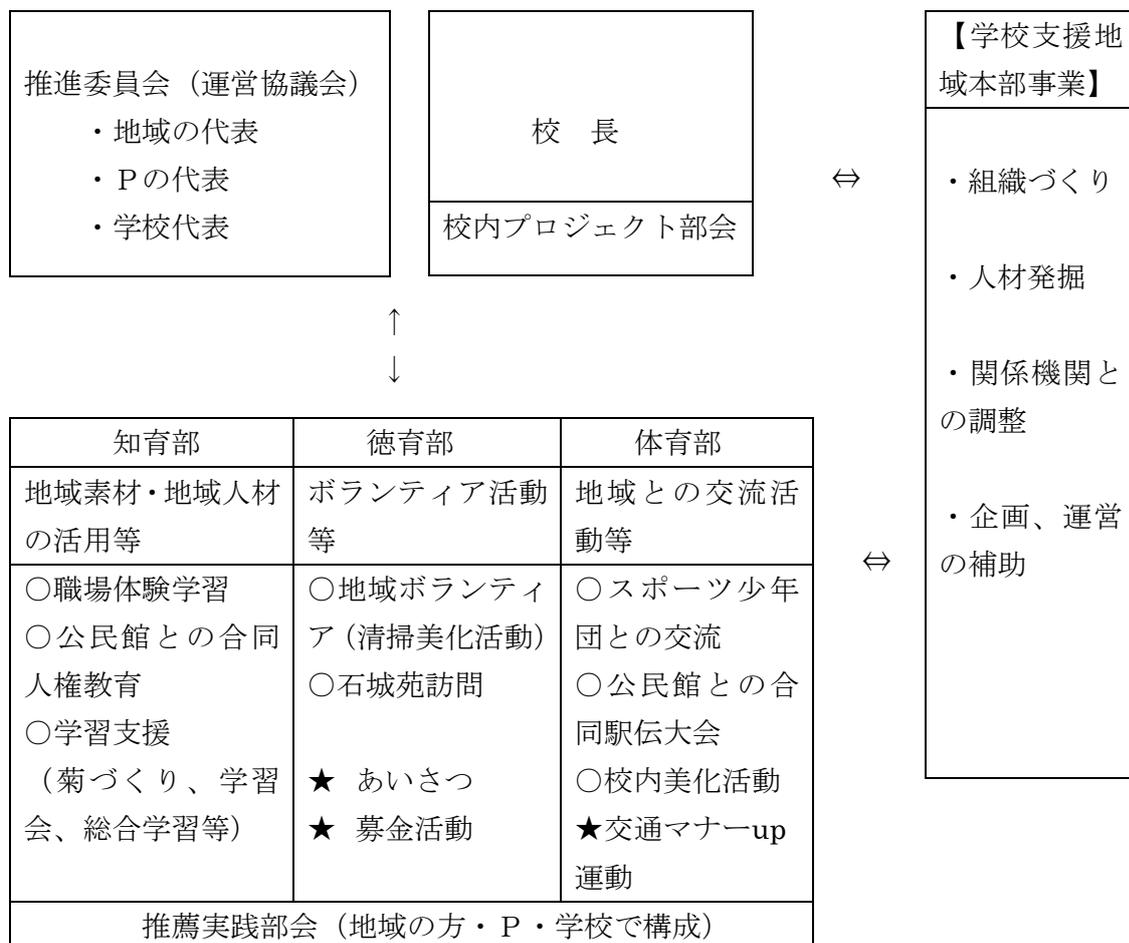
(1) コミュニティ・スクール推進委員会の設置とPTA組織の改編

本年度は、来年度からスタートするコミュニティ・スクールの準備として、次のような組織を構想して、模索してきた。

家庭と学校と地域が同じ方向性をもって、協働し、生徒を育てていく学校

- 保護者や地域の方々の知恵や人材、資源を活用することで、学校の教育活動を活性化することができる。
- 学校の取り組みを広く家庭や地域に公開することで、開かれた学校づくりを進めることができる。
- 家庭と学校と地域が同じ方向性をもって、協働することで、家庭、学校、地域を一体化し、元気にすることができる。

構 想 図



【運営協議会】

○協議内容

- ・ 教育目標（めざす生徒像）について
- ・ 教育課程及び運営計画への意見と承認
- ・ 推進実践部会への提案と評価
- ・ 学校評価に関すること
- ・ その他、学校運営に関すること

○構成メンバー

- ①地域代表・・・公民館代表（3名） 地域代表（3名）
- ②P代表・・・PTA会長（1名） PTA副会長（2名）
- ③学校代表・・・校長

以上のようなコミュニティ・スクール設置に向けての構想と連動させて、PTAの役員組織や役割分担についても、次のような改編案を構想した。

○平成25年度 P T A組織改編案

これまでの4部会（広報部会・行事部会・生活部会・学年部会）を、次のように3部会に再編成し、学年や学級関係の協議・企画・運営については、P T A学級委員代表と学年主任を中心にその都度会議をもつこととした。

知育部	徳育部	体育部
<ul style="list-style-type: none"> ・ C S 知育部の活動の企画、運営、参加等 ・ P T A 広報紙の発行 ・ P T A 研修 ・ 教育フォーラムへの参画 ・ その他の学習支援活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ C S 徳育部の活動の企画、運営、参加等 ・ 大和駅伝大会炊き出し ・ P T A 合唱 ・ P T A バザー ・ 人権教育学習講座 ・ その他ボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ C S 体育部の活動の企画、運営、参加等 ・ 大和地域 P T A 球技大会 ・ 大和地域補導 ・ 市健全育成大会 ・ 学校保健安全委員会 ・ その他体育・安全活動

(2) 大和地域4小学校との連携について

① P T A 会員同士の交流と親睦を深めた球技大会

大和地域の4小学校・1中学校の5校のP T Aの交流と連携を図って、下記のように球技大会を開催した。

記

○期日：平成24年8月5日（日）

○会場：大和スポーツセンター

○日程 7:30～会場準備

8:00～キャプテン会議

8:20～開会式

8:50～試合開始

12:00～閉会式

○種目：ソフトバレーボール（9人制） 各学校、A・B2チーム参加

A・Bブロックで、それぞれダイヤモンドリーグ戦、各チーム2試合ずつ行う。

それぞれのブロックごとに、勝敗・セット率で順位を決定する。

各学校とも、選手と応援を含めて30名前後のP T A会員の参加があり、総勢150名を超える大会となった。審判や得点係等も相互に行い、好プレー、珍プレーが続出する中、応援あり、笑いありの和気あいあいとした大会でもあった。本年度は、A・Bブロックともに、お世話をした大和中学校が優勝したが、勝ち負けに関係なく、参加した方々は楽しめ、交流が図られた。来年度以降も、お世話をする当番校を5校の輪番とし、小・中の連携をさらに深めたいということで意見も一致した。なお、午後は公民館で懇親会も開催したが、こちらの参加も予想以上に多く、活発なコミュニケーションが行われた。



② 小中P T A合同会議における情報交換



前述した大和地域小中学校P T A球技大会を開催するにあたって、前後に2度の小中P T A合同会議を下記のように開いた。

記

○期日：6月12日（火）・・・1回目

9月21日（金）・・・2日目

○会場：大和中学校P T Aルーム

○時間：18：30～

○参加者：大和地域各小中学校P T A役員

- 議題 《1回目》 ・球技大会の運営について（参加チーム数、競技方法、運営方法、運営費、実施要項等）
- ・その他、情報交換（各P T Aの活動、大和地域の児童生徒の様子、地域と連携した行事や活動等）
- 《2回目》 ・球技大会を終えての反省と来年度への引き継ぎ事項について
- ・その他、情報交換（大和地域の通学路の安全確保について、校外補導や見まわり隊の活動について、その他）

球技大会の準備や反省のための会議でもあったが、その他の情報交換や情報の共有もできた。4小学校とも児童数・家庭数は減少の方向で、うち2小学校は全校児童数が22名、38名であり、家庭数も少なく、今後は地域や他の小中学校との連携を図った行事の企画も特に必要となってくる。今後ともこのような合同会議をもって、お互いの課題を共有したい。

（3）大和地域全体で子供を見守り育てる

① 通学路緊急合同点検会議

本年度当初から、通学路の点検については、児童生徒および保護者の目も借りて、行ってきた。また、光市教育委員会の要請もあり、大和地域の小中学校の代表が集まって、緊急合同点検会議も開催された。この会議には、光警察署、周南土木建築事務所、市役所の方も加わってくださり、通学路の危険箇所について協議することができた。

特に大和中学校にとっては、4つの小学校区内における危険箇所については、把握していない箇所もあり、大変重要な情報を得ることができた。交通安全面や不審者対応面、さらには自然災害面から、それぞれに危険を予知し、回避できるように、今後とも小中で日頃から情報の連絡・共有に努めることも確認できた。

② 公民館と協働した夏休みの地域パトロール

夏休みには、公民館の青少年健全育成部のお世話で、5つの小中学校の教職員やP T A役員が4、5人のグループで、大和地域のパトロールを行った。ここでも、実際に地域内を目で見ながら巡回する中で、いろいろと情報の交換や共有ができた。

③ 交通安全教育への地域からの協力

大和中学校では、ほとんどの生徒が自転車通学生ということもあって、4月当初には全校

で交通安全教室を実施している。この教室の指導には、地域の交通安全推進担当の方々や保護者の手助けもあって、有意義な教室になっている。生徒も地域の方から温かい指導を受け、地域の方から見守られているという意識をもてる機会である。

また、毎月2回朝の立哨活動にも、生徒ともに地域の方も加わっていただき、あいさつを交わしていただいたり、声をかけていただいたりするのも大変心強い応援である。



④ 保護者・大和地域の方々の願いを知る

来年度からコミュニティ・スクールを設置するというので、保護者と地域の方に次のような項目でアンケートを実施した。

ア 大和中の生徒として大事にしてもらいたいことは、どんなことか。

イ 大和中の生徒に対して、どんな地域活動を期待したいか。

ウ 保護者や地域から学校にどんな協力や支援ができそうか。

アンケートの集計結果から読み取れることは、次のようなことであった。

・アについて

保護者は「学力」を重視しているが、地域の方はそれほどではない。保護者、地域の方がともに重視しているのが、「あいさつ、返事」「いじめのない安心した学校」「集団行動・忍耐力」といった項目であった。

・イについて

保護者、地域の方がともに期待しておられることは、「地域行事への積極的な参加」「環境美化活動」「ボランティア活動」「伝統文化の継承」といったことが多かった。

・ウについて

保護者、地域の方がともに挙げておられるのが、「学校行事への参加、参観」「環境整備」「地域の伝統文化」といった内容であった。

これらのアンケート結果から、保護者や地域の方の学校への関心の高さや、大和地域の子供たちを育てたいという気持ちが伺われた。

(4) 地域の教育力で子供を育てる

① 「学校だより」「PTA広報紙」の自治会での回覧

本校は、塩田地区、三輪地区、岩田地区、東荷地区と4つの地区からなる校区をかかえている。本年度から、これらの地域の方々に学校の様子や生徒の様子を知っていただくために、月1回発行の「学校だより」と年3回発行の「PTA広報紙」を自治会の各班の回覧に入れ

ていただき、情報発信の手立てにしたいと考えた。具体的には、4地区、68自治会、275班分の「学校だより」「PTA広報紙」を各自治会長様の自宅に届けるのだが、本校生徒がいる自治会については、地区代表生徒に持参してもらうようにした。生徒と地域の方が言葉を交わす機会ともなった。生徒のいない自治会には本校教職員やPTA役員で持参し、地域の方とのコミュニケーションの機会となった。

② PTAと地域が協働した校旗の新調

学校から、入学式や卒業式に使用する校旗が大変傷んでおり新調したいとの申し出が昨年度の終わりにあった。PTA役員会で協議し、本年度が大和中学校創立65周年にあたるので、その記念事業として、本校のOBや地域の方にも協力をお願いしようということになった。PTA役員や地域の代表、公民館関係などで、実行委員会を組織し、取り組んだ。この活動を通して、保護者と地域に方が協力して、各地区の寄付金を集めて回り、目標額を大幅に超える寄付金が集まった。校旗の完成にあたっては、各公民館に2日ずつ展示させていただき、地域の方にもお披露目するとともに、回覧でお礼と収支報告もさせていただいた。大和地域の方々の大和中学校に対する熱い支援の思いを強く感じる事ができた。

③ 菊づくりや紙芝居上演など、生徒の学習支援活動



大和地域は石城山を中心に、様々な文化的価値の高いものや、伝統文化、歴史的遺産も多い。また、生徒の学習を支援できる人材も多く潜在しており、その発掘にも努めている。

本年度は、3年生の技術科の授業で菊づくりに挑戦したいという学校の意向を受け、地域で菊づくりに取り組んでいらっしゃる方を紹介し、学習を支援していただくことができた。秋の文化祭には、見事な3本仕立ての菊が咲きほこり、文化祭に花を添えた。また、日ごろ地域にもお世話になっているので、3つの公民館の文化祭や秋祭りにも展示させていただき、好評を得た。同じく、1年生の国語科の授業では、物語の起承転結を学ぶ題材として、紙芝居を上演していただいたり、生徒に4枚の絵から物語を作らせていただいたりして、支援していただいた。

5 成果と課題

本年度、小・中学校のPTA役員や会員同士が、話し合ったり、交流したりする場がもて、お互いが顔を合わせて意見や情報を交換できたことは、大きな成果と言える。今後は、各校の独自性を尊重しつつ、大和地域全体でのコミュニティづくりを目指して、各校のコミュニティ・スクールがどのように連携し、協働していけるか模索していきたい。